

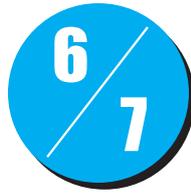


山頂が見えると、疲れを忘れ一気にペースが上がる参加者

七時雨山(1063)の山開きは6月7日、田代平コース登山口で行われました。市の北東部に位置する七時雨山は、新日本百名山や岩手の20名山に数えられる名峰で、山開きは田代平コース登山口と七時雨コース登山口で、毎年交互に行われています。こ

としは、観光関係者や登山者など約40人が神事、出発式に参加。今シーズンの登山者の安全と、観光名所としての七時雨山の発展を願いました。出発式に続いて参加者たちは、市旗を先頭に北峰を目指し登山。元気に山頂まで登り切った佐々木竜太くん(寺田小1年)は「初めての七時雨登山で、ちよつと疲れたけど、楽しかった。山を登るのはおもしろいので、また登りたい」と笑顔でおにぎりを食べていました。山頂では、市山岳協会が登頂記念品を参加者に配布し、山開きを盛り上げました。

夏山シーズンの幕開けを告げる七時雨山山開き



参加者は、サルビアやジニアなどの花を配置を考えながら手際よく植え、完成したバスケットを見て「素敵にできた」「これから咲いていくのが楽しみ」と満足した様子でした。この講座は、7月14日にも開催する予定です。

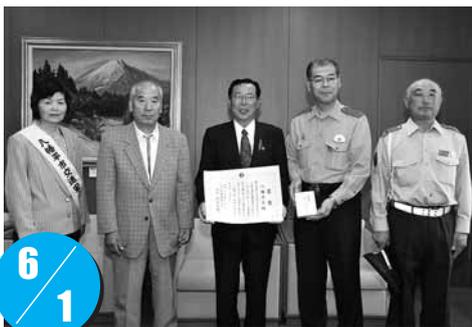
コツが分かれば簡単なハンギングバスケット



熱心に講師の話に耳を傾ける参加者

松尾地区公民館講座「ガーデニング講座」は5月27日、松尾相撲場で行われました。日本ハンギングバスケット協会が認定するハンギングバスケットマスターの資格を持つ高橋良子さん(松尾寄木)を講師に、地区の住民15人が参加し、寄せ植え作りに挑戦しました。

交通死亡事故ゼロ1年 賞賛状が贈られました



交通事故防止へ意欲を高める交通安全関係者

交通死亡事故抑止賞賛状の伝達式は6月1日、市役所で行われました。これは、1年間交通死亡事故が発生しなかった市町村に県警察本部から贈られるものです。伝達式には、田村正彦市長、伊藤重高市交通安全協会長、高橋忠一市交通指導隊長、田村フミ市交通安全母の会長が出席。熊谷正和岩手警察署長から賞賛状を伝達された田村市長は「交通事故の防止は、市としても大きな課題。交通指導隊、交通安全協会などと協力して、これからも交通事故防止の啓発活動がんばりたい」と決意を新たにしました。



交通事故防止賞賛状伝達式 (6月1日、市役所)



七時雨山山開き (8月7日、七時雨山)



七時雨山山開き(登頂記念品配布) (6月7日、七時雨山)

すなつぷギャラリー